

Ⅳ-3 あなたの子どもにとっての「携帯電話」どう考えますか？

対象：小学生高学年～中学生の子を持つ保護者  
時間：120分程度

ねらい	携帯電話の光と影を話し合うことを通して、ツールを安全にかつ上手に活用していくための知識と判断、家庭でのルールの必要性、また、親の姿勢について考えることを目的としている。		
実施のポイント	○携帯電話の利便性に隠れる危険性について知る機会となったか。 ○親が果たす役割（責任）について考える機会がもてたか。		
事前の準備	○あらかじめ、4～6人のグループに分かれておく。（子どもの性別別グループ、混合グループ、親の性別等のグループ編成が考えられるが、それぞれに出てくる意見、関心事が違ってくることもあるので、進行上、その点に留意する。）		
時間	アクティビティの展開	展開のポイント	準備物
導入 15	ワークの主旨説明 1) 温かい雰囲気をつくり、自己紹介をする。 2) 資料のリード文を読み上げながら、今日の学習のねらいを確認する。		ワークシート
書き込み 10	ワーク1 「エピソードから」 1) エピソードを読み、感想、子どもの気持ち、親の思いを記入する。	○一人ひとり、相談しないで記入する。目安となる時間も告げられるとよい。 ○できれば、3色の付箋を用意し、色別にそれぞれについて記入すると、意見を整理しやすい。 ○携帯電話を持たせていること、持たせていないことについて、良い、悪いを話し合う場ではないことに留意する。	ワークシート 筆記用具 付箋3色
話し合い 10	2) ワークシート（または付箋）を基に、各自が記入したことについて話し合う。		
合計 20			
書き込み 15	ワーク2 「携帯電話の光と影について」 1) 携帯電話を子どもに持たせたときに、便利だと思うこと（光）と心配だと思うこと（影）を記入する。	○記入に当たって、目安となる時間を告げるとよい。 ○できれば、2色の付箋を用意し、色別にそれぞれについて記入すると、意見を整理しやすい。	ワークシート 筆記用具 付箋2色
話し合い 15	2) ワークシートに記入した光と影について、それぞれ活用法と対処法について記入する。		
発表 15	3) ワークシート（または付箋）を基に、お互いの意見を発表しながら話し合い、グループとしての意見をまとめる。	○ファシリテーターは、発表されたことについて、箇条書きで整理し、発表されたことを参加者全体で共有する。	黒板、ホワイトボード等
合計45	4) グループで話し合った「光とその活用法」、「影とその対処法」について発表する。		
ミニ講話 5	資料の解説 「出会い系サイトの事件簿」 1) 携帯電話を利用した、出会い系サイトにまつわる事件について解説する。	○被害者ばかりではなく加害者になる可能性についても補足すると良い。	
書き込み 10	ワーク3 「我が家のルール」 1) もし、携帯電話を持たせるとしたら（持たせていたら）、どんなルールが必要だと思うか記入する。	○参考になることがあったら、メモを取り、家庭で実行してみることを勧めるとよい。 ○携帯電話にかぎらず、家庭でのルールを話し合うことが大切であることを確認する。	ワークシート 筆記用具
話し合い 20	2) 各自記入したことをグループで出し合い、話し合う。		
合計 30	3) 携帯電話にかかわらず、今までに家庭で実行していたルールがあったら、グループで話し合う。		
まとめ 5	ふりかえり 「プログラムをとおして気づいたこと」	○2, 3名に発表してもらっても、グループ内で話し合っても良い。	

IV-4 異性に関心を持ちはじめた子どもについて考えてみましょう。

～思春期相談コーナーより～

対象：中学生～高校生の子を持つ保護者  
時間：120分程度

ねらい	子どもたちの発育・発達の早期化、社会環境の変化による性情報の氾濫などから性意識の変化や性行動の多様化が進んできている。思春期は発達段階で性に目覚める時期、性や異性に興味を持ちはじめる時期なので、親として、人間としての在り方、生き方をどう子どもに伝えていくか、ワークを通して考えることをねらいとしている。		
実施のポイント	○性に関する正しい知識、感情に流されてしまわない「心」を伝えることの大切さを話し合うことで気づく機会となったか。 ○子どもにとって、どんな家庭を築くことが大切なのか考える機会となったか。 ○子どもにどのような姿勢を示し、どんな接し方をするか考える機会となったか。		
事前の準備	○筆記用具 ○可能であれば、ワーク、資料、エピソード、それぞれに分割して用意できるとよい。		
時間	アクティビティの展開	展開のポイント	準備物
導入 15	ワークの主旨説明 アイスブレイク（自己紹介）	○4～6名でグループ編成をする ○子どもの性別別、参加者の性別別、混合グループにしてもいいが、意見の出方などが違ってくこともあるので、その点に留意する。 ○各グループで、自己紹介ができるアクティビティを行う。 ○和やかな雰囲気をつくり、話し合いが活発にできるように努める。	
読む 5  資料 5 書き込み 10 話し合い 15 合計 35	ワーク1 1) エピソードを読む。  2) 資料についての説明を聞く。 3) 感じたことを、書く。  4) 自分の経験（思春期の頃、現在の子どものこと）も含めて話し合う。	○ワークの中で各家庭の様子などを話し合うにあたって、この場では出される個人的な情報の扱いについて注意するよう伝える。 ○ワークのやり方について説明する。 ○ワークはファシリテーターが読み上げても、グループの中で一人が読んで、個人でも読んでいい。 ○資料を使って、高校生の意識について説明する。 ○大方書き込みが終わったら、グループ内で書き込んだ内容について話し合ってもらおう。 ○付箋紙に思ったことを書いてもらい、グループで話し合いをしてもよい。	ワークシート 筆記用具  (付箋紙)
書き込み 15  話し合い 20 (発表 15)  合計 35 (50)	ワーク2 アドバイス 1) ABさん、C君にアドバイス。 2) グループからアドバイス。	○ワークのやり方を説明する。 ○それぞれのシートに書き込んでもらおう。 ○付箋紙に一つずつ書いてもらってもよい。 ○大方書き込みが終わったら、それぞれが書き込んだ内容についてグループ内で発表し合う。 ○グループの意見を話し合いながらまとめてもらおう。 ○グループが複数できるなら、グループの意見を発表し合ってもよい。	(付箋紙)
書き込み 10 グループ内での発表 10  合計 20	ワーク3 子どもに伝えたいこと 1) 自分の子どもに対して伝えたいこと、伝えるために心がけることを書く。 2) グループ内で発表し合う。	○自分の子どもに伝えたいこと（何を大事に思うのか）を整理するためのワーク。 ○親として、人間として子どもに伝えたい思いを考えてもらおう。 ○なかなかイメージできないような場合は、例を示す。 例：「伝えたいこと」相手を大切に思う気持ち「心がけたいこと」 家族への接し方、言葉かけなど、生活の中で自分の姿勢を見せていく ○書き込みが済んだら、グループの中で発表し合う。	
話し合い 10	まとめ	○ワークを行っての感想を自由に話し合ってもらおう。 ○時間がない場合はワーク3で終わりにしてもよい。	